

伊勢湾・若狭湾環境情報データベースの構築

水産土木工学部

研究の背景・目的

沿岸域における漁業の持続的発展と漁場環境の効率的かつ実効的な保全創造に資することを目的として、水産基盤整備事業による魚礁漁場や増養殖場の情報、沿岸定線調査等による資源量や漁場環境の情報について有効利用を図るデータベースを開発するとともに、インターネット上でデータベースを公開するシステムを構築する。

研究の成果

伊勢・三河湾及び若狭湾をモデル海域にして、国や関係府県における水産関係事業(水産基盤、栽培、資源調査等)による漁場環境データ、数値データ、画像データを一元的に管理する「伊勢湾・若狭湾環境情報データベース」を社団法人日本水産資源保護協会と共同で開発し、平成20年1月よりインターネット上で公開した(<http://ay.fish-jfrca.jp/kiban/>)。

波及効果

1. 漁場環境情報の一元的管理(逸散防止)
2. 漁場環境情報の有効利用の促進



伊勢湾・若狭湾環境情報データベースの検索画面

(上席研究員・明田定満)